

「第1回 NDE4.0 シンポジウム」における質疑応答の方法について

参加者各位

本シンポジウムでは、より多くの方に議論に参加いただけるよう、講演に対する質疑応答に「Slack」というオンラインを利用したコミュニケーションツールを使用します（口頭での質疑応答と「Slack」を併用するものです）。参加者の皆様には誠にお手数をお掛け致しますが、本書をご確認いただき、「Slack」へご登録いただきますようお願い致します。

なお、当会におきましても初めての試みのため、ご不便、ご迷惑をおかけすることになるかもしれませんが、何卒ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

（一社）日本非破壊検査協会
第1回 NDE4.0 シンポジウム実行委員会

■お願い事項

- ・講演に対するご質問は、講演毎に設定されたチャンネル番号で行ってください。（プログラムにチャンネル番号を記載してあります。）
- ・文章によるやりとりとなるためお互いの表情や感情を伺うことができませんので、建設的な質疑応答となるよう、記載される質疑応答の内容には十分にご配慮ください。
- ・記載された内容及び行動等について、誹謗中傷や迷惑行為として、当実行委員会が判断した場合、本人への確認を行う事なく内容削除等の処置を行う場合があること予めご理解願います。
- ・当該 Slack に起因して発生する損害等については、当実行委員会では責任を負いかねますことご理解願います。

■Slack の利用期間

2023 年 10 月 30 日(月)～11 月 13 日（月）（12 時まで）

この期間、自由に質疑応答していただけますので、講演やポスター発表の時間に制約されることなく十分にご議論していただければと思います。

■Slack 参加の招待メール

事前参加登録者へ Slack 参加の招待メールを 10 月 26 日（木）に送信します。

招待メールに記載された URL から本書を参考に Slack へ参加してください。

※10 月 27 日（金）になっても招待メールが届かない場合は、お手数ですが、下記枠内の要領にて事務局まで御連絡ください。頂戴したメールアドレスへの返信にて、招待メール（URL）を再送信させていただきます。

宛先：taikai@jsndi.or.jp

件名：「第1回 NDE4.0 シンポジウム Slack 招待メール未受領の件」

文書内に参加者名をフルネームでご記載ください。

目 次

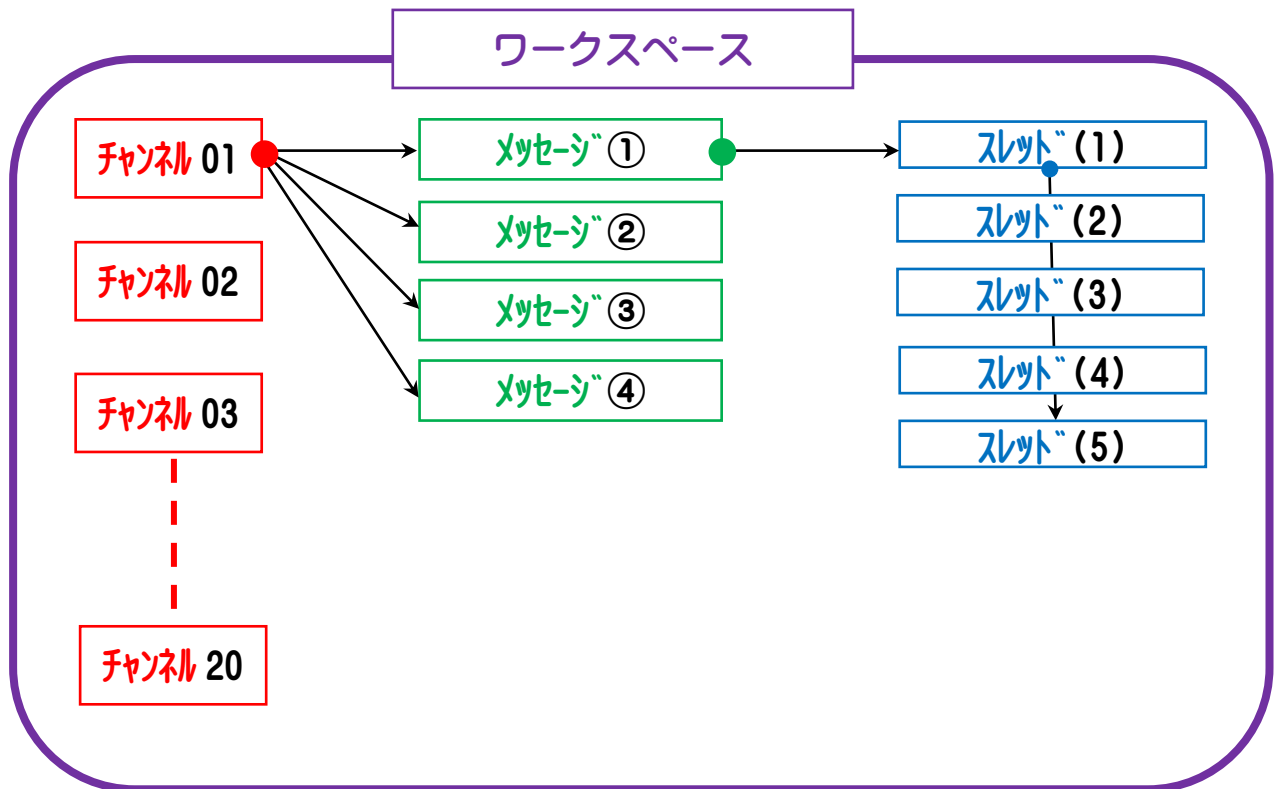
Slack の概略	p. 3
Slack への参加	p. 4
プロフィールの編集	p. 5
質疑応答① 講演チャンネルへの参加	p. 6
質疑応答② 質問を送信する	p. 7
質疑応答③ 回答を返信する	p. 8

※本 PDF の内容を動画で説明したのもご用意しました。
どうぞ併せてご覧ください。

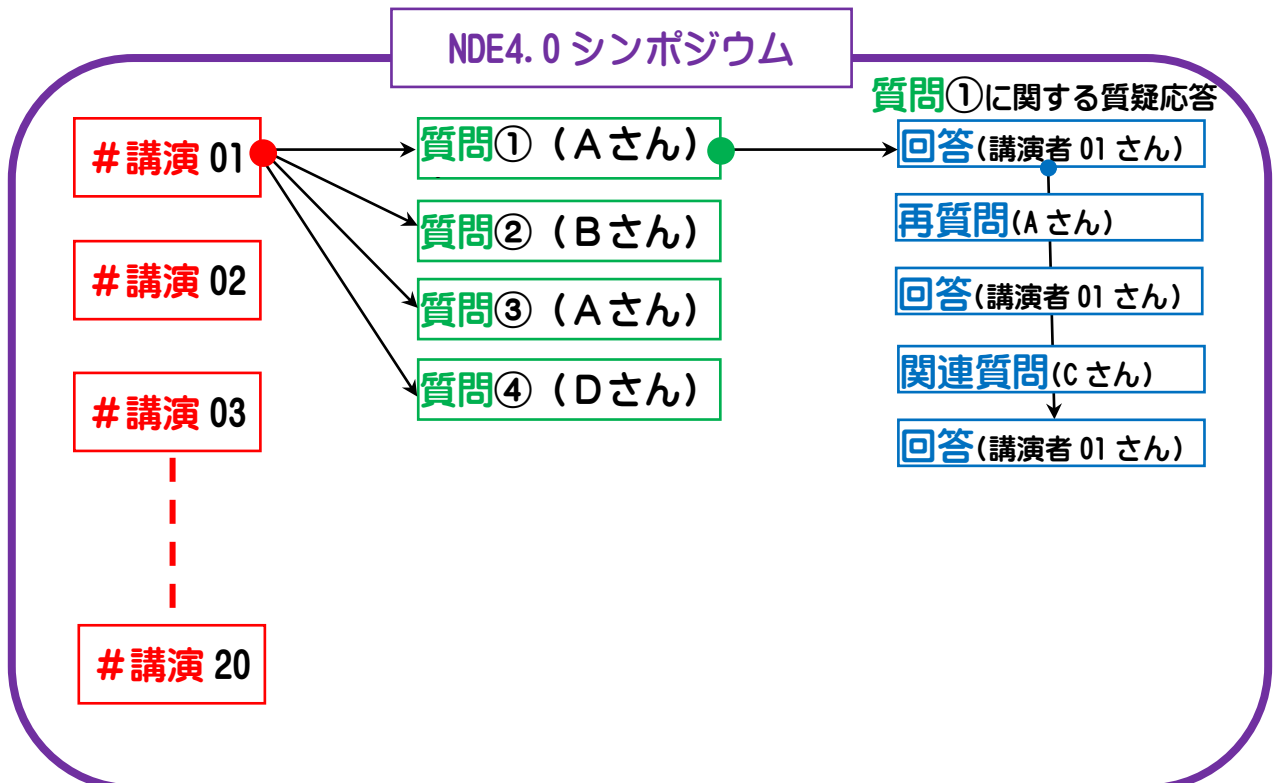
動画 URL <https://vimeo.com/860092401/90e93e32b6?share=copy>

Slack の概略

(1) Slack で使用されている用語での概略



(2) NDE4.0 シンポジウムにおける概略



Slack への参加

※所属勤務先のネットセキュリティ対策の関係で PC より参加出来ない場合、誠に申し訳ありませんが、個人のタブレットやスマホを利用してご参加ください。

※本書は windows10 を使用した画面（2023 年 7 月時点）で説明しています。ご使用になられているブラウザや PC 環境により画面表示が異なる場合があります。

※下記の①で登録するメールアドレスは、他の参加者が Slack 内で各個人のプロフィールを確認することで閲覧することができます。通常ご使用のメールアドレスを知られたくない方は、テンポラリーなメールアドレスを作成のうえご参加ください。また、質問される方は匿名でのご質問は受付ませんこと予めご理解願います。（フルネームと勤務先の明示が必要）

- ① シンポジウム事務局から届いた「Slack 参加の招待メール」に記載された URL をクリックすると、次の画面になります。

※クリックしても URL に進まない場合は、URL をコピーして、WEB ブラウザに URL を直接ペーストしてご利用ください。



- ② Google アカウント、Apple アカウント、その他のメールアドレスのいずれかを選択し、各々の画面手順に従ってメールアドレスを登録すると次の画面となります。



- ③ ①で登録したアドレスに6桁のコードが届きますので確認して、コードを入力してください。

一文字ずつ入力しなくても、メール記載の6桁のコードをコピーして、上図の1文字目でペーストすると6桁とも入力されます。

- ④ 入力が完了すると Slack 「第1回 NDE4.0 シンポジウム」の画面へ移動します。

プロフィールの編集

ご自分の氏名と勤務先を記載してください。

① 画面右上の「人型」アイコンをクリック

② 「プロフィール」をクリック

③ 「編集」をクリック

④ プロフィールを編集画面にて次を入力

【氏 名】フルネーム

【表示名】フルネーム + (勤務先)

⑤ 「変更を保存」をクリック

プロフィールを編集

氏名
非破壊一郎

表示名
非破壊一郎 (非破壊検査協会)

プロフィール写真

写真をアップロード

ワークスペースのオーナー

JSNDI事務局

+ 名前の発音を追加する

アクティブ

名前を録音
音声クリップを録音する

名前の発音
浅田 (読みは「あさだ」)

音声での読みや、名前の読みに近いものの例を記入できます。

タイムゾーン
(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京

現在のタイムゾーン。サマリーや通知メールの送信、アクティビティフィードやリマインダーの時間に使われます。

キャンセル 変更を保存

※講演者（回答者）は、質問者の氏名（勤務先）が明示されていない場合は、回答前にプロフィールの編集を行う様に要請いただいて結構です。

質疑応答①

質問したい講演（チャンネル）又は質問内容を閲覧したい講演（チャンネル）に参加する。

第1回NDE4.0シンポ

general

+ 関連ページを追加する

スレッド

メンション & リアク...

canvas

Slack コネクト

ファイル

その他

チャンネル

general

作成

管理する

チャンネル一覧

general
✓ 参加中 · 2名のメンバー · このチャンネルには、常にすべてのメンバーが含まれます。社内通知やチーム全体の会話にびったりです。

講演01
1名のメンバー · ■文章によるやりとりとなるためお互いの表情や感情を伺うことができませんので、建設的な質疑応答となるよう、記載される内容に...

講演02
0名のメンバー · ■文章によるやりとりとなるためお互いの表情や感情を伺うことができませんので、建設的な質疑応答となるよう、記載される内容に...

講演03
0名のメンバー · ■文章によるやりとりとなるためお互いの表情や感情を伺うことができませんので、建設的な質疑応答となるよう、記載される内容に...

general
✓ 参加中 · 2名のメンバー · このチャンネルには、常にすべてのメンバーが含まれます。社内通知やチーム全体の会話にびったりです。

講演01
1名のメンバー · ■文章によるやりとりとなるためお互いの表情や感情を伺うことができませんので、建設的な質疑応答となるよう、記載される内容に...

講演02
0名のメンバー · ■文章によるやりとりとなるためお互いの表情や感情を伺うことができませんので、建設的な質疑応答となるよう、記載される内容に...

表示する

参加する

① 「チャンネル」をクリック

② 「管理する」⇒「チャンネル一覧」をクリック

③ 質問したい「講演番号」にマウスをあてる

④ 「参加する」をクリック

チャンネルに # 講演 xx が追加される。

すべてのチャンネル

ファイル

その他

チャンネル

general

講演02

+ チャンネルを追加する

ダイレクトメッセ...

55つのチャネ...

general
✓ 参加中 · 2名

講演01
1名のメンバー

講演02
✓ 参加中 · 1名

質疑応答②

質問をメッセージ入力して送信する。

The screenshot shows the Slack interface for the channel "# 講演02". On the left sidebar, the channel list includes "# 講演01" and "# 講演02". The "# 講演02" channel is highlighted with a pink box. A red arrow points from this box to the message input area at the bottom of the channel view. The input area has a placeholder text "# 講演02 へのメッセージ" and is also highlighted with a pink box. A red arrow points from the input area to the next screenshot.

This screenshot shows the message input area with the text "図1についてXXXXXの質問があります。" entered. The input area is highlighted with a green box. A red arrow points from the input area to the next screenshot.

The screenshot shows the Slack interface after the question has been posted. The message "図1についてXXXXXの質問があります。" is now visible in the channel history, highlighted with a green box. The channel list on the left still shows "# 講演02" as the active channel. A red arrow points from the input area of the previous screenshot to this message.

- ①質問したい「# 講演番号」をクリック
- ②「メッセージ」欄へ質問事項を入力
- ③ 送信ボタン「>」をクリック
→「メッセージ」欄に質問が表示されます。

※質問は参加者全員で閲覧できることが原則としていますので、講演者（個人）宛てへのダイレクトメッセージは禁止とします。

※講演者（回答者）は、ダイレクトメッセージによる質問については、質問者へ講演（チャンネル）への再質問を行う様に返信願います。

質疑応答③

回答を返信する。

The process is shown in four steps:

- ① 回答するメッセージにマウスをあてる。
- ② 「スレッドで返信する」をクリック
- ③ 「回答」を入力
- ④ 送信ボタン「➤」をクリック
→スレッド欄に回答が表示されます。

※当該質問について質疑応答や関連質問を続ける場合には、返信する欄へ「入力」→「送信」を繰り返してください。